

ツアー番号
LK2CK7W5JD

文化と遺産 (9日間)

9日間・8泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この9日間のツアーは、専用運転手付きガイド車を利用して、スリランカの文化三角地帯、中央高地、南西海岸を巡ります。ダンブッラの洞窟寺院、ポロンナルワ、シギリヤから始まり、丘陵地帯のキャンディとヌワラエリアを経由し、ベントタの海岸で時間を過ごした後、コロンボに戻って出発します。

旅行者は島の古都と遺跡を間近で見学できるほか、野生動物と村の体験も楽しめます。ダンブッラの洞窟寺院の壁画と仏像、ポロンナルワの遺跡、シギリヤの岩の要塞、ミンネリヤ国立公園のジープサファリ、シギリヤ近くの村訪問（牛車乗車とカタマラン船旅行を含む）です。高地ではツアーは歯の遺舎寺院、キャンディアンダンスショー、マタレ近くのスパイスガーデン、ヌワラエリア近くの紅茶工場、イギリス領時代の丘陵地帯の町を散策します。

最後の数日は海岸でペースが変わり、コスゴダのウミガメ孵化場訪問、マドゥ川のボート乗船、ゴール旧市街の散策、コロンボの夜間ツアーの後、空港への移動があります。ツアー全体を通じて、指定された運転手ガイドとプライベートな冷房完備の乗用車で運営されます。



日程詳細

1日目 空港 → ダンブッラ

コロンボ空港到着後、Lakpuraのショーファーガイドがお迎えし、ダンブッラへ向かいます。チェックイン後には洞窟寺院を訪れます。



ダンブッラ石窟寺院

ダンブッラの黄金寺院は紀元前1世紀に起源を持ち、仏陀の生涯を描いた壁画や、神聖王の洞窟や偉大な王の洞窟を含む5つの主要な洞窟に数百体の仏像や神像が安置されています。洞窟群から少し離れた場所には巨大な黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5



ピンナワラ象の孤児院

サバラガムワ州にあるこの孤児院は、野生で保護者を失ったり迷子になった子象を保護しており、現在は世界最大級の飼育象の群れの一つが暮らしています。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

2日目 ダンブッラ → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

この日は古代都市ポロンナルワの探訪に時間を費やし、午後にはミンネリヤ国立公園でサファリを楽しみ、夕方にダンブッラへ戻ります。



ポロンナルワ

スリランカの2番目の主要な古代首都で、10世紀から13世紀にかけて栄えました。遺跡の見どころには、ガルヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、そしてパラークラマバーフ王にゆかりのある像などがあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園

ジープサファリでは、低木地や森林の中で象をはじめ、様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類を観察するチャンスがあります。5月から10月にかけては、「グレート・エレファント・ギャザリング」として知られる象の大群が集まる光景が見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

3日目 ダンブッラ → シギリヤ → ダンブッラ

この日はシギリヤ・ロック要塞の観光と、スリランカの農村生活を体験する近隣の村への訪問に充てられます。



シギリヤ

この5世紀の岩の要塞はカーシャパ王によって築かれ、巨大なライオンの爪を模した入口から入ります。訪問者は有名な色褪せない壁画やテラス状の庭園、今も機能している貯水池を眺めながら進み、トンネルを通って旧宮殿へと至ります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0

シギリヤ村体験

地元の村への訪問では、牛車での移動、静かな湖をカタマランで渡る体験、水田を歩くウォーク、伝統的な料理デモンストレーション、そして蓮の葉に盛られた家庭料理の昼食を楽しみます。

4日目 シギリヤ → マータレー → キャンディ

キャンディへ向かう途中、マータレー近郊のスパイスガーデンに立ち寄り、キャンディでの夜には工芸品のデモンストレーションと伝統舞踊ショーが楽しめます。



マータレーのスパイスガーデン

スリランカのスパイスの都として知られるマータレー近郊のスパイス・薬草園をガイド付きで巡り、コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどのスパイスとその用途、そしてアーユルヴェーダの基礎について学びます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

宝石細工・木彫り・バティックのデモンストレーション

キャンディでは、宝石細工、木彫り、バティック染めといった地元の工芸技術のデモンストレーションを見学する機会があります。



キャンディアン・カルチュラル・ショー

この1時間のイブニングショーでは、伝統的なキャンディアン舞踊、火と剣の踊り、太鼓演奏が披露されます。

Arian Zwegers · CC BY 2.0

5日目 キャンディ → ヌワラエリヤ

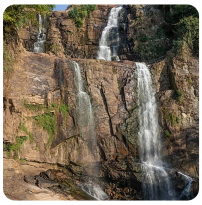
午前中はキャンディの仏歯寺を訪れ、その後は丘陵地帯のヌワラエリヤへ向かいます。道中には滝や茶園への立ち寄りもあります。



仏歯寺

このユネスコ世界遺産は16世紀に仏陀の聖なる歯の遺物を納め、守るために建てられ、彩色された広間、彫刻の施された柱、金箔の仏像などが見られます。

A.Savin · FAL



ランボダの滝

スリランカで11番目に高い滝、ランボダの滝に立ち寄ります。

A.Savin · FAL

茶園と製茶工場

茶園と製茶工場のガイド付き見学では、セイロン茶の栽培と加工方法について学び、1850年代にジェームズ・テイラーがルーレコンデラ農園で紅茶産業を始めたことにまで遡ってその歴史を紹介します。



ヌワラエリヤの町

かつて英国の避暑地だったこの町を夕方に散策し、コテージやヴィラ、邸宅、古い赤レンガの郵便局、ビクトリア女王公園、グレゴリー湖畔などを巡ります。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

6日目 ヌワラエリヤ → ベントータ

この日は主に高原地帯から海岸沿いのベントータへ移動する日となり、到着時には海亀の孵化場に立ち寄ります。



コスゴダ・ウミガメ孵化場

南西海岸にあるこの孵化場では、5種の絶滅危惧ウミガメの卵を保護する活動を行っており、訪問者は保護されている子ガメや傷ついた成体のウミガメを見たり触れたり、時には餌を与えたりすることができます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

7日目 ベントータ

午前中はビーチでの自由時間を過ごし、その後マドゥ川でのボートツアーと、古い要塞都市ガッレへの訪問が続きます。



マドゥ川ボートサファリ

バラピティヤ近くのマングローブに囲まれたマドゥ川をボートで巡り、日光浴をするワニやオオトカゲ、シナモンが採取される小さな島、フィッシュマッサージの体験などを楽しみながら、水辺の鳥たちも観察できます。

SUPindia · CC BY-SA 4.0



ガッレ・フォート

かつてポルトガルとオランダの要塞都市であった古い植民地時代の町ガッレは、アジアで最も保存状態の良い要塞の一つで、博物館や灯台、オランダ語の名前が残る石畳の通りが見られます。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0

8日目 ベントータ → コロンボ

コロンボにチェックインした後、夜は首都の街並みや名所を自由に探索する時間となります。



コロンボ市内観光

コロンボの夜には、旧灯台、旧国会議事堂、ゴール・フェイス・ホテル、ゴール・フェイス・グリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった名所を訪れ、独立記念広場やレースコース周辺の店々も巡ります。

Gihanud2001 · CC0

9日目 コロンボ → バンダラナイケ国際空港

朝食後、出発便に合わせて空港へ移動します。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, Fuel, Parking & Highway tolls.
- Service of English-Speaking Chauffeur Guide.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation and Meals.
- Entrance fees to the respective sites.
- Chauffeur Guide's Accommodation.
- Expenses of personal nature.
- Visa and Related Expenses.